

問1 資本主義経済が発展する過程において、仕事を求めて農村から都市へ人口が移動したことで発生した、当時の社会問題に関する記述として正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. 農村での機械化が遅れたため、工場での労働力不足が慢性化し、労働者の賃金が経営を圧迫するほど高騰した。
2. 労働者の教育水準を高めるために、すべての工場労働者に対して国費による高度な専門教育と余暇の提供が義務付けられた。
3. 都市の居住環境が整備されないまま人口が急増したため、労働者はスラムのような劣悪な環境での生活や伝染病の流行に苦しんだ。
4. 資本主義の負の影響を解決するために、政府がすべての私有財産を没収し、国民に平等に分配する法律を即座に施行した。

問2 明治時代後半、日本の産業が軽工業から重工業へと発展する基礎となった官営の八幡製鉄所について、その設立の背景と所在地の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 日露戦争の勝利による賠償金をもとに、神奈川県に建設された。
2. 日清戦争で得た賠償金をもとに、福岡県に建設された。
3. 第一次世界大戦の好景気のもとに、兵庫県に建設された。
4. 地租改正による税収をもとに、群馬県に建設された。

問3 近代の大阪について述べた文章のうち、江戸時代の呼称や地理的特徴、および交通網の発展について説明したものととして正しいものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

1. 「水の都」と呼ばれた大阪では、運河の重要性が増したため、鉄道建設よりも水上交通の近代化が優先的に進められた。
2. 「将軍のお膝元」と呼ばれた大阪では、政府主導で官営の鉄道網が敷かれ、主に生糸を輸出するための輸送ルートとして発展した。
3. 「学問の都」と呼ばれた大阪では、都市部への人口集中を避けるため、私鉄の沿線開発は農業振興に限定して行われた。
4. 「天下の台所」と呼ばれた大阪では、私鉄が都市部と郊外を結ぶ鉄道網を整備し、駅を中心とした開発によって生活圏が広がった。

問4 ノルマントン号事件において、日本人乗客を見捨てたとされるイギリス人船長らが、日本の法律ではなくイギリスの領事による裁判にかけられ、結果として不当に軽い判決で済んだ根拠となった不平等条約上の権利を何といいますか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 領事裁判権
2. 関税自主権の欠如
3. 内政干渉権
4. 最恵国待遇

問5 日本の近代化の歩みをまとめた略年表において、1872年に新橋と横浜の間で鉄道が開業したことが記されています。この出来事の背景や当時の社会への影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)

1. 欧米の新しい技術や文化を取り入れる文明開化の象徴となり、国民の生活や時間への意識を大きく変えた。
2. 日露戦争の軍事輸送を主な目的として、民間の資本によって日本各地の幹線道路と同時に整備された。
3. 江戸幕府が鎖国を維持するために、国防の観点からイギリスの資金を借りて建設を進めた。
4. 土農工商の身分制度を維持するために、武士専用の交通手段として主要都市間に限定して導入された。

問6 日本の紙幣（一万円札）の肖像としても長く親しまれた人物について述べた次の文のうち、その人物の思想や行動として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 慶應義塾を創設し、西洋事情を紹介することで日本人の近代的な考え方を育もうとした。
2. 江戸幕府の最後の将軍として、政権を朝廷に返す大政奉還を決断した。
3. 外務大臣として、日清戦争後に結ばれた下関条約の交渉や調印にあたった。
4. 内閣総理大臣として、国民の支持を背景に日本で最初の本格的な政党内閣を組織した。

問7 明治政府が派遣した岩倉使節団には、幼少期の津田梅子を含む数名の女子留学生が同行していました。当時の政府が、多額の費用をかけて女子留学生を欧米へ派遣した背景や、その後の津田梅子の活動目的として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)

1. 富国強兵政策の一環として、製糸工場などで働く女性労働者に最新の機械操作を教える指導者を育成しようとしたから。
2. 不平等条約の改正交渉を有利に進めるため、外国の要人と対等に社交ができる女性通訳を大量に養成する必要があったから。
3. 欧米の進んだ文明を吸収して日本の近代化を進めるため、次代を担う女性にも高い教養や自立した精神が必要だと考えたから。
4. キリスト教の布教を制限する代わりに、女子教育については教会の教育方針を全面的に取り入れるよう政府が決定したから。

問8 日本の就業者数の割合が、1910年時点の約20%から、経済の発展とともに右肩上がりに上昇し続け、2000年頃には全体の60%以上を占めるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 高度経済成長期において、道路や鉄道などの社会資本整備のために建設業の就業者が激増したため。
2. 食料自給率の向上を目指した政府の政策により、大規模な農地経営に携わる人々が増えたため。
3. 重化学工業への転換が進み、輸出を中心とした製造業の雇用が大幅に拡大したため。
4. 経済の成熟に伴い、生活の利便性を高めるサービス、流通、情報通信などの需要が増大したため。

問9 明治時代、政府は北海道の本格的な開発とロシアに対する北方防備を目的に「開拓使」を設置しました。このとき、土地の開拓に従事しながら、有事の際には兵士として警備の任務にあたった人々を何と呼びますか。 (2020年 島根県公立入試 類似)

1. 足軽
2. 屯田兵
3. 御家人
4. 防人

問10 明治政府にとって長年の課題であった不平等条約の改正のうち、1894年に陸奥宗光がイギリスとの間で調印し、領事裁判権（治外法権）を撤廃することに成功した背景として最も適切な説明を選んでください。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 日清戦争に勝利したことにより、日本の軍事的な地位が向上し、欧米諸国が日本の要求を全面的に受け入れたため
2. 大日本帝国憲法の制定や法典の整備が進み、近代国家としての法体制が整ったことが欧米諸国に評価されたため
3. ノルマントン号事件をきっかけに、日本国内で条約改正を求める国民運動が鎮静化したため
4. 鹿鳴館を中心とする欧化政策が成功し、日本の生活習慣が欧米と完全に一致したと認められたため

問11 1902年、日本はある国が東アジアにおいて進めていた「南下政策」に対抗することを主な目的として、イギリスとの間で軍事同盟を結びました。このとき、日本とイギリスが共通の警戒対象としていた国はどこですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. ロシア
2. フランス
3. アメリカ
4. ドイツ

問12 1871年の岩倉使節団の出発から1990年のドイツ再統一までを記した歴史の時系列において、1885年に内閣制度が発足した時期の説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

1. 日清戦争が始まり、日本の国際的地位が大きく変化した時期
2. 西南戦争が勃発し、士族の反乱が激化していた時期
3. 国会期成同盟が結成され、自由民権運動が全国的に高まっていた直後の時期
4. 大日本帝国憲法が発布され、日本に最初の憲法が誕生する直前の時期